



鹿の子百合

薩摩川内市立中津小学校
令和8年 2月発行 No.10
薩摩川内市上飯町中飯254
Tel09969-2-0013 Fax09969-6-1632
発行責任者:校長 西元 真一

新1年生体験入学がありました

1月30日(金)に、令和8年度入学予定の新1年生の体験入学・保護者説明会を行いました。

体験入学では、1・2年生との交流学习を行いました。折り紙で作った作品のお店屋さんで、入学予定の子供たちを迎えました。

お買い物ごっこを進めるうちに自然に会話がはずみ、一緒に楽しく遊ぶことができました。体験入学の子供たちが喜ぶ様子に、おもてなしをした1・2年生もとても嬉しそうでした。

保護者説明会では、学校経営や学校生活・入学準備、保健面などの説明を行いました。4月の新1年生の入学が待ち遠しいです。



3月の主な行事

- 3日(火) お別れ給食
- 5日(木) 学級PTA
- 6日(金) 6年生を送る会
お別れ遠足
- 12日(木) 卒業式予行
- 13日(金) シェイクアウト訓練
- 23日(月) 卒業式会場準備
お別れ奉仕作業
- 24日(火) 卒業式
- 25日(水) 修了式・辞任式
- 26日(木) PTA幼小合同送別会



「ともに、一步踏み出す勇気を」

校長 西元 真一



寒さも一時の厳しさに比べるとだいぶゆるんできましたが、朝吹く風はまだひんやり冷たく、昼間との寒暖差で体調を崩しがちな季節です。

さて先日、授業参観(縄跳び発表会)を行いました。子供たちは個人種目の短縄で自分の選んだ技に挑戦したり持久跳びで粘り強く跳んだりと頑張りました。また、縦割り班では長縄にチャレンジするなど、これまで朝活動や体育の授業などで練習を重ねてきた成果を発表しました。発表会後半では、保護者の皆さんも参加しての大人チーム対子供チームの長縄勝負もあり大いに盛り上がりました。

連日、日本代表選手の活躍に沸いた2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピック。選手の頑張りや夢舞台に立つまでの努力や苦難の物語にふれ、たくさんの元気と勇気をもらいました。

今回のオリンピック日本代表選手団「TEAM JAPAN」が大事していた考えが「ともに、一步踏み出す勇気を」です。そこには3つの願いがこめられていました。

- 一体感** 競技に挑むアスリートと、彼らを応援する人々が思いを一つにし、誰もが「TEAM JAPAN」の一員であると感じること。
- 相互の力** 選手の挑戦する姿が観る人の勇気となり、また、人々の応援が選手の力になるという、双方向のつながり。
- 挑戦** 結果だけでなく、未知の領域へ踏み出そうとする「勇気」そのものを称え合う姿勢

今回の縄跳び発表会でも「TEAM JAPAN」の考えに通じるたくさんの姿が見られました。出場種目を最後まであきらめずに挑戦する姿。頑張る友達を励まし讃える姿。頑張る子供たちをあたたく応援する保護者の皆さんの姿。結果だけでなくこれまでの頑張りも認め讃える先生たちの姿。そこにはオリンピックでも見られた笑顔や感動、そして一体感がありました。

本年度も残り一か月あまりとなりました。保護者の皆様、地域の皆様の日頃の子どもたちへの温かい言葉かけやサポートに感謝いたします。

子供たちがさらなる一步を踏み出す勇気を後押しできるよう、職員一同残りわずかな一日一日を大切に過ごしていきます。

大切な命を守るために！～幼小合同火災避難訓練～



2月3日(火)に火災発生を想定した避難訓練を中津幼稚園と合同で行いました。子供たちは非常ベルや避難放送をしっかりと聞き、全員が素早く落ち着いて校庭に避難することができました。その後、分駐所の方から、消火器の使い方や避難するときのポイントについてお話していただきました。

大切な命を守るために学んだことを忘れないようにしていきます。

空き瓶回収への御協力ありがとうございました



2月7日(土)に、PTA空き瓶回収を行いました。天候が心配されましたが、当日作業を行う時間帯は晴れ間も見え、無事に活動を行うことができました。

参加者それぞれが自分の役割をしっかりと理解して動くことができ、昨年度よりも本数が多かったですが大変スムーズに回収作業が進み、予想していた時間よりも早く作業を終えることができました。

瓶を出してくださった地域の皆様、そして活動に参加してくださった保護者の皆様、児童の皆さん、御協力いただき本当にありがとうございました。

すてな本との出会いを！～校内読書月間～



2月は読書月間です。期間中は、一人2冊本の貸し出しや職員による読み聞かせ、読書郵便、家庭での読書の推進等を行います。

写真は職員による読み聞かせの様子です。どのクラスの子供たちもじっくり読み聞かせに聞き入っていました。穏やかですてきなひとときとなりました。

子供たちがこの機会にたくさんの本に触れ、本の世界を楽しんでほしいと思います。

SOSの出し方を学びました！



2月13日(金)に、全学年を対象にスクール・カウンセラーの先生と一緒に「SOSの出し方」について学習しました。困った時の対処法について教えていただいたり、ペットボトルを使って心の重さについて考えたりしました。自分の気持ちに気付くことの大切さや困った時に相談できる相手が必要であることが分かりました。今回学んだことを今後の生活に生かしていきます。

自立のために今できること ～学校保健委員会～



2月17日(火)に、今年度最後となる「第3回学校保健委員会」を行いました。生活リズム調べの集計結果の確認や本年度のテーマ「自立のために今できること ～生活リズム・メディアとの付き合い方を考えよう～」についてグループごとに話し合いを行いました。特に、「子供たちにどのような力を身に付けてほしいか」や「家庭や学校でできる取組の工夫」について具体的なアイデアや実践例を共有することができ、大変有意義な時間となりました。今年度の成果を振り返りつつ来年度も子供たちが健やかに、そして自立して生活できるよう家庭と学校が連携して取り組んでいきたいと思っております。お忙しい中御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

縄跳び運動の集大成 ～縄跳び発表会～



2月17日(火)に、縄跳び発表会を行いました。本校では年間を通して「縄跳び運動」に取り組んでいます。子供たちはこの日のために、1年間コツコツと練習を重ねてきました。

最初に個人技を披露しました。リズムよく跳ぶ「あや跳び」や「交差跳び」や「二重跳び」。一回一回、真剣な表情で縄を回す子どもたちの姿はとても頼もしく見えました。

続いては、2チームに分かれての長縄対決です。種目は、流れるように跳んでいく「8の字跳び」と、全員で息を合わせる「連続跳び」の2つ。引っかけたとしても励まし合い、チーム全員で記録に挑む姿には、1年間の成長を感じました。

そして、発表会の最後を飾ったのは、「長縄・8の字跳び対決 ～児童 vs 保護者～」です。結果は保護者チームに軍配が上がりました。

1年間のがんばりを、一番近くで見守ってくださる保護者の皆様に見ていただけたことは、子供たちにとって大きな喜びと自信になりました。お忙しい中御参観いただき、また競技への御参加、本当にありがとうございました。

今月のおすすめの一冊 「おさるのジョージ」/M.&H. A. レイ作/岩波書店



我が子が通った中津小学校で、図書館司書補として働かせていただき、本の整理をしていると、「おさるのジョージ」シリーズが目にとまりました。貸し出しカードに我が子やその同級生の名前を見つけ、1年生の頃の姿を懐かしく思い出しながら読みました。

知りたがりやで、いたずら好きでかわいいジョージがいろいろな体験をします。元気でやんちゃだった頃の我が子と重なりました。

子供がジョージのようにいろんな経験をして、成長していく様子を想像しながら読むと、楽しい1冊だと思います。(図書司書補 榎 昭子)